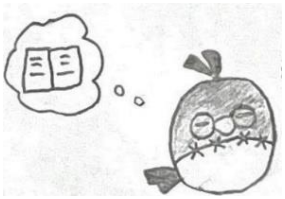
諏訪台中学校

図書館だより



学校図書館キャラクター
フクローさん

令和８年１０月発行
荒川区立諏訪台中学校
校　長　　出井　玲子
学校司書　神谷　裕子

読書月間　10月19日(月)～11月6日(金)

読書の秋です。諏訪台中学校の読書月間では、図書委員会が中心となって朝読書の推進や、読書を楽しむイベントなどを企画して全校で取り組んでいます。
この機会にたくさんの本と出合ってみませんか？

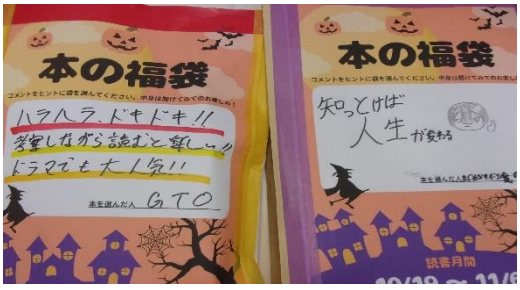
みんなでつくる！

「スワ本100選」アンケート

「スワ本１００選」とは、諏訪台中学校の生徒・教職員がおすすめする本の中から１００冊を選んで作る諏訪台中オリジナルの推薦図書リストです。図書委員会では、この「スワ本１００選」に入れたいおすすめの本を募集します。心に残った本、友達に読んでもらいたい本など、あなたの一冊をぜひ推薦してください。

本の福袋　～開けてびっくり！本との出会いを楽しもう～

どんな本が入っているかは、開けてみてのお楽しみ「本の福袋」イベントを開催中です！図書委員や先生がおすすめ本を袋に入れて、コメントをつけました。ぜひ、思いがけない本との出会いを楽しんでみてください。



図書委員会のスローガン

「誰もが夢中になれる一冊に出会える図書館」

給食×図書館コラボ　今月のブックメニュー



『八朔の雪―みをつくし料理帖』

高田　郁/著、角川春樹事務所

江戸の町の小さな料理屋で働く澪（みお）が料理を通して人々の心を温め、自分自身も成長していく物語です。今月の給食には、物語に登場する「はてなの飯」と「豆腐と菊花のすまし汁」が登場します。「はてなの飯」とは、一体どんな料理でしょう？　ぜひ、読んでみてくださいね！

江戸の暮らしをもっと知りたくなった人に

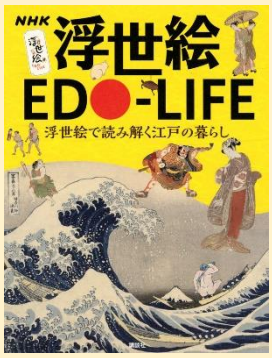
ブックメニューの本『八朔の雪―みをつくし料理帖』の舞台は、江戸時代。物語と合わせて読んでみると、当時の人々の暮らしや文化がより深く味わえます。



『江戸でバイトやってみた。』

櫻庭　由紀子／著　技術評論社

もしも現代の高校生が江戸のまちでアルバイトしたら？
町人の仕事やお金のしくみ、町のルールなど、江戸の生活を楽しくわかりやすく知ることができる一冊です。物語感覚で読めるので、江戸の暮らしがぐっと身近に感じられます。



『浮世絵　EDO-LIFE
浮世絵で読み解く江戸の暮らし』

藤澤　紫／監修　講談社

浮世絵から、江戸時代の人々の暮らしやファッション、遊び、行事などを読み解く本です。美しい浮世絵を見ながら、当時の町のにぎわいや人々の様子を知ることができます。絵を見る楽しさと、歴史を知る面白さの両方が味わえます。



『歴史 REAL
大江戸くらし図鑑』
(洋泉社 MOOK)
洋泉社

江戸の町のつくりや、住まい、食事、衣服、子供たちの手習い、ペット事情など、江戸の暮らしを幅広く紹介した図鑑です。たくさんのイラストや写真で、当時の生活がわかりやすくまとめられており、調べ学習にもおすすめです。